

2025 年 12 月 24 日
株式会社ミライスピーカー

【人生 100 年時代のテクノロジー期待度調査】 健康維持と体の変化を補う技術に、いずれも半数以上が期待

70 代は外出・会話支援、女性は家事・家族負担の軽減に高い関心。世代とジェンダーで異なるニーズが明らかに

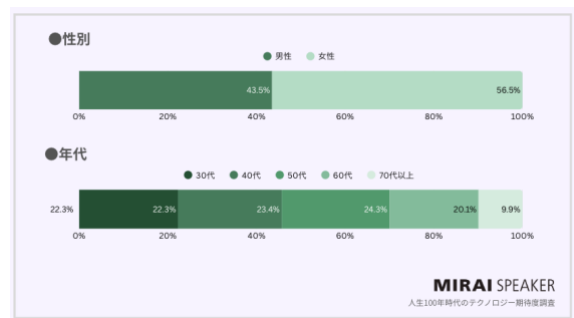
「100 年の人生をテクノロジーで豊かにする」という想いのもと、テクノロジーの力で、誰もが明るく前向きに暮らせる社会づくりをめざす株式会社ミライスピーカー（所在地：東京都中央区、代表取締役社長：山地浩、以下「当社」）は、人生 100 年時代のテクノロジー期待度調査を、全国の 30 歳以上の男女 543 名に対して実施し、その結果を発表いたします。



◆調査概要

- 調査名：人生 100 年時代のテクノロジー期待度調査
- 調査期間：2025 年 11 月 19 日～26 日
- アンケート対象者：30 歳以上の男女（全国）
- 有効回答：543 名
- 回答者の分布（右図）
- 調査手法：インターネットリサーチ
- 調査元：株式会社ミライスピーカー調べ

（株式会社プラスアルファ・コンサルティング提供テキストマイニングツール『見える化エンジン』使用）



◆人生 100 年時代のテクノロジー期待度調査結果サマリー

1 | 最も解決してほしい分野は「健康」——全年代で共通の最優先ニーズ

人生 100 年時代において、健康・介護・体の衰えへのサポートが最も求められる分野であることが明らかに。年代や性別を問わず、健康テクノロジーへの期待が幅広く共有されていた。

2 | 期待されるテクノロジーは「健康維持」「体の変化を補う技術」——世代とジェンダーで異なるニーズが明らかに

日々の変化を早めに察知したいことや、加齢に伴う身体機能の低下を補う技術への期待が全体で高い傾向。70 代以上では「外出」「趣味」「会話」など生活を楽しむためのテクノロジーへの関心が他年代より強い傾向が、「家事負担の軽減」は女性で強く求められるなど、年代や性別によるニーズの違いも確認された。

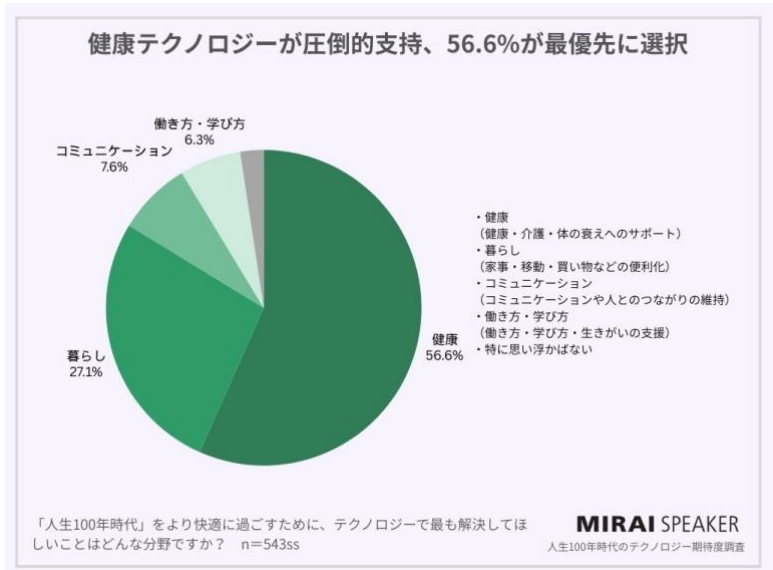
3 | 自由回答では“生活の困りごと”が幅広く言及——移動・コミュニケーション・介護が代表的

移動のしづらさ、会話やつながりの不安、介護に関する悩みなど、日常生活に関する多様な課題が自由回答では挙げられた。人生 100 年時代の困りごとは、健康に限らず幅広い領域に存在していることが示された。

◆最も解決してほしい分野は「健康」、56.6%が最優先に選択

「Q1 「人生 100 年時代」をより快適に過ごすために、テクノロジーで最も解決してほしいことはどんな分野ですか？」を尋ねたところ、全体の半数以上が「健康・介護・体の衰えへのサポート」と回答しました。

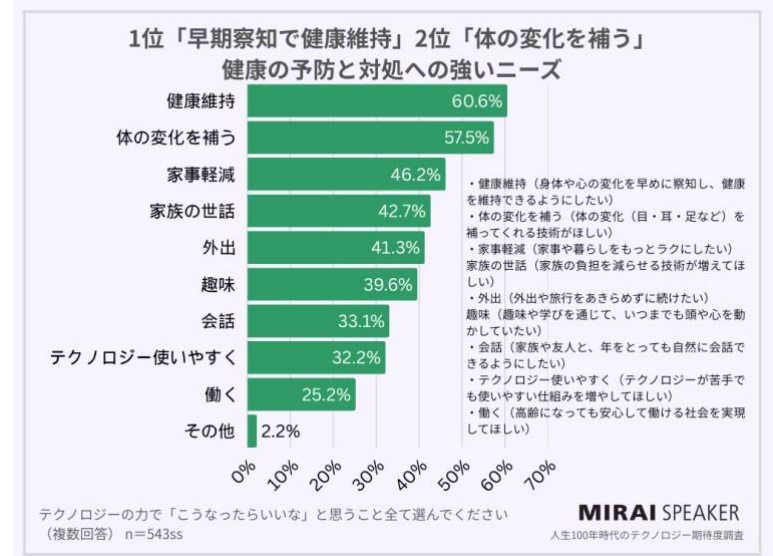
年代別・性別での大きな差は見られず、「健康」に関するテクノロジーへの期待は全世代共通の課題として認識されています。



◆テクノロジーの力に期待するのは「健康維持」で 60.6%、次点は「体の変化を補う」で 57.5%。予防や対症的健康管理への強いニーズが見える

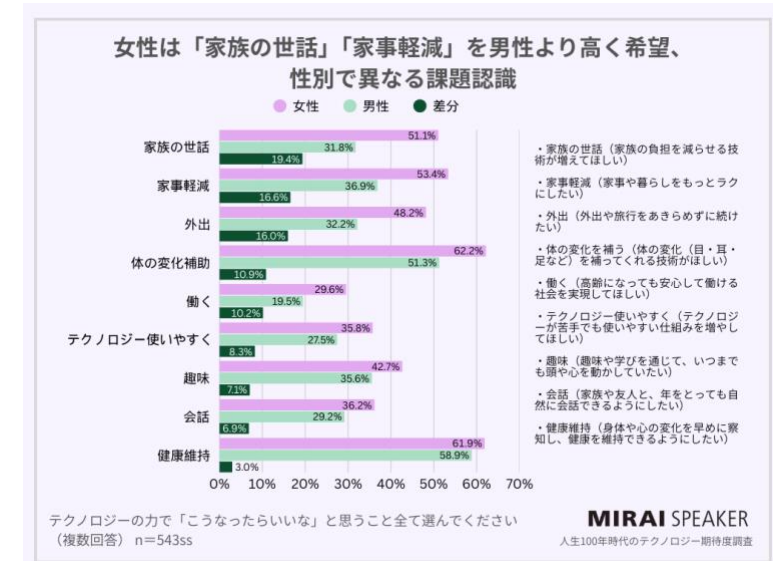
「Q2 テクノロジーの力で「こうなったらいいな」ということ全て選んでください（複数回答）」を尋ねました。その結果、最多は「身体や心の変化を早めに察知し、健康を維持したい」で 60.6%、次点では「体の変化（目・耳・足など）を補ってくれる技術がほしい」で 57.5%となりました。

一方で、「高齢になっても安心して働ける社会の実現」については最下位となりました。本調査ではその理由までは明らかになっていませんが、回答者の関心が「働き続けること」よりも、まずは日常生活や健康を安定して維持することに向いている可能性がうかがえます。



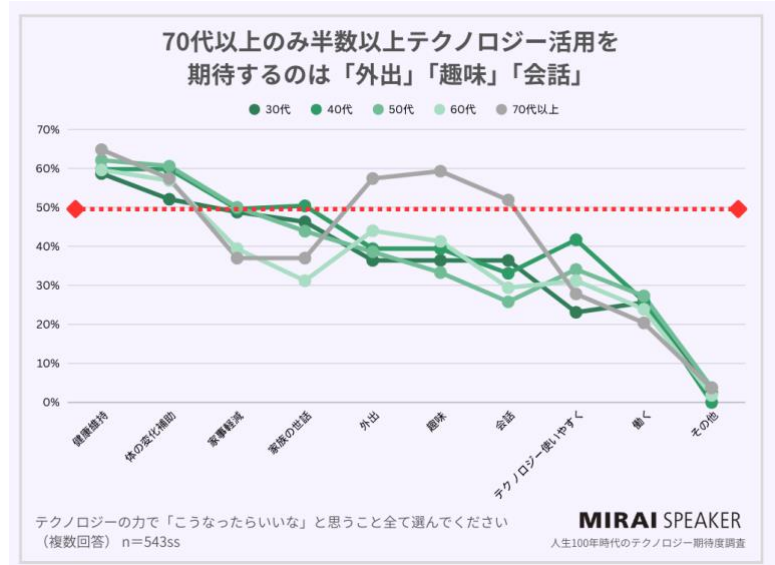
◆性別で異なる課題意識、女性は「家族の世話」「家事軽減」で、男性を 10 ポイント以上上回り半数以上に

性別分析では、特に「家族の世話の負担軽減」「家事の効率化」において、女性の回答率が男性を 10 ポイント以上上回り、半数以上となりました。こうした結果から、女性は自身の健康管理に加え、家族や日常生活を支える役割の中で生じる負担を、テクノロジーで軽減したいという意識がより強いことがうかがえます。



◆70代以上では半数以上が「外出」「趣味」「会話」へのテクノロジー活用を希望している

年代別分析では、70代以上のみ回答者の半数以上が「外出や旅行を諦めずに続けたい」「趣味や学びを通じて、いつまでも頭や心を動かしていきたい」「家族や友人と、年をとっても自然に会話できるようにしたい」と回答し、全体平均（3割～4割）より高い関心を示しました。この結果から、70代以上では健康維持に加えて、外出や会話、趣味といった「生活を楽しみ続けること」を支えるテクノロジーへの期待が特に高いことがうかがえます。



◆実際の不安や要望から見えるのは、生活に密着した「改善してほしいテクノロジー」

「「こういうテクノロジーがあればいい」「ここを改善してほしい」など、具体的な願いや製品に関する要望・アイデアがあれば教えてください」という自由回答については、選択式の質問で最優先とされた「健康」とは異なり、日常生活の中で直面している、より身近な課題が多く挙げられました。

中でも目立ったのは、移動や交通に関する声で、通院や買い物、外出といった日常行動をよりスムーズに行いたいという切実な要望が見られます。また、会話や人とのつながりに関する不安、介護や老後の生活を支える仕組みへの期待など、「こんな製品や仕組みがあれば」という生活実感に基づくアイデアが多く寄せられました。

【代表的な回答】

▼ 移動・交通への不安（地方・高齢者の視点）

「地方に住んでいる人にとって移動手段としての自家用車での移動は必要不可欠である為に、老化によって、身体の機能などが衰え、移動手段としての車の運転が出来なくなると不便である事から、自動運転の技術が更なる進歩を重ね、車は運転するものから、目的地を指示するものへと、シフトして行くと良いものと考えます。」（40代男性）

「3Dプリンタで格安小屋を普及させて欲しい、完全自動運転で免許不要の車を出して欲しい、無人バスや無人タクシーを増やして欲しい」（50代男性）

「自分の力で何とかなることと、ならないことがある。運転免許は返納した。通院にも不自由をしている。買い物は重くて持ち帰るのが大変。今後目や耳が衰えてくると思われる。交通インフラの整備が望まれる。」（70代男性）

▼ コミュニケーションへの不安

「脳の活性化には、人との会話に勝るものはないと言うので、これを大切にしておきたいかな。健康のサポートも欲しいけど…」（50代女性）

「私はひきこもりであり、話す人がいません。テクノロジーによって、話し相手ができたらいいと思います。孤独を解決したい。ChatGPT などありますが、もっと進化してほしい」（40代男性）

「今まで通り自然な会話ができる補聴器。音の認識はできるが言葉としての聞こえが鮮明自然なものが無い。年齢を重ねて行ったり、万が一、一人になった時にサポートしてくれるそんなテクノロジーがあればいいですね。」（70代女性）

▼ 健康・介護への現実的な不安

「人生100年と言っても健康寿命が延びない事には、介護負担や医療費が増大するばかりです 老老介護も叫ばれて久しいです AI 知能が搭載された介護ロボットが導入されることを期待します」（60代女性）

「独居高齢者のための家事手伝いや日常会話や介護を行うためのAI搭載のロボットがあればいいなあと思います。」（60代男性）

「医療や薬が発達して、身体の老化を抑えられて健康でいられるなら長生きしたいと思う」（30代男性）

◆健康ニーズの高さと「体の変化を補う技術」への関心が明確に

今回の調査では、人生 100 年時代においてテクノロジーに期待されるテーマとして「健康」が最も重視され、年代・性別を問わず健康関連のテクノロジーへの期待が高いことがわかりました。

単一回答で「最も解決してほしい分野」として健康を選んだ人は 56.6%でしたが、複数回答可の具体的な期待内容では、「健康維持」60.6%、「体の変化を補う技術」57.5%と、いずれも 6 割前後に達しました。この結果から、健康という大きなテーマの中に、予防的な健康管理と加齢による機能の衰えを補助するソリューションという、異なる方向性のニーズが共に強く存在することが示されました。また「家事負担軽減」は女性で高く示され、性別によってテクノロジーに期待することの重心が異なる点も特徴的です。

一方で、自由回答では、「移動」「コミュニケーション」「介護」に関する不安が中心となり、日常生活のさまざまな場面で課題が生じていることが確認されました。

これらの結果から、人生 100 年時代の“困りごと”は単一の領域にとどまらず、多面的に広がっていることが明らかになりました。

こうした多様なニーズの中で、当社が取り組んできた「曲面サウンド」技術は、「体の変化を補う技術」のひとつとして、聞こえの面からのサポートを実現してきました。「曲面サウンド」を搭載したミライスピーカーシリーズは、累計販売台数 40 万台(※1)を突破。国内人気機種である「ミライスピーカー・ミニ」は 2024 年の年間機種別販売金額 No.1 を獲得しました(※2)。



今回の調査で示された「体の変化を補う技術」への期待は、目、耳、足など、生活を支える様々な機能に対するサポートを求める声と言えます。当社は聞こえのサポートを通じて、“聞こえづらさ”によって何かをあきらめる人を一人でも減らし、100 年の人生をテクノロジーで豊かにする取り組みを続けてまいります。

*ミライスピーカーの「聞こえ」には個人差があります。

※1 2025 年 6 月末時点の受注台数

※2 「ミライスピーカー・ミニ」が、全国の家電量販店や EC サイトから収集した実売データランキング「BCN ランキング」のスピーカ部門にて、2024 年 1 月~12 月機種別販売金額の年間 No.1 を獲得

◆「100 年の人生をテクノロジーで豊かにする」——明るく前向きに暮らせる社会へ

私たちは、「100 年の人生をテクノロジーで豊かにする」という想いのもと、誰もが年齢を重ねても、自分らしく暮らしを楽しめる社会をめざします。創業以来、特許技術「曲面サウンド」によって“言葉をくっきり届ける”という新しい価値を提案し、「ミライスピーカー®」シリーズを通じて、多くの方々の聞こえの課題解決に取り組んできました。これからも、聞こえをはじめとする人生 100 年時代の“日常の不便”に寄り添いながら、テクノロジーの力で、人々の暮らしをより豊かに、前向きに支えてまいります。

◆「ミライスピーカー」製品ラインナップ

MIRAI SPEAKER

Stereo



ミライスピーカー・ステレオ

テレビの言葉くっきり、はそのままでも
ドラマや映画が臨場感をもって楽しめる

【型式】コンパクト型アンプ内蔵曲面サウンドスピーカー(ステレオアンプ内蔵)

【スピーカー形式】新開発ハイブリッド方式曲面振動板スピーカーユニット(特許取得済)

【周波数特性】150Hz~20kHz(総合特性)*参考値

MIRAI SPEAKER.

Mini



ミライスピーカー・ミニ

テレビの音量上げずに、言葉がくっきり
コンパクトモデル

【型式】コンパクト型アンプ内蔵曲面サウンドスピーカー

【スピーカー形式】新開発ハイブリッド方式曲面振動板スピーカーユニット(特許取得済)

【周波数特性】180Hz~20kHz(総合特性)*参考値

MIRAI SPEAKER

【アンプ出力】実用最大出力 15W×2(ステレオ)

【入力/入力感度】①光デジタル入力②3.5 mmステレオミニジャック

【使用環境】温度-10℃～40℃多湿環境での使用は避けてください。

【サイズ】W542mm×H87mm×D160mm

【重量】約 1.7kg(AC アダプター約 120g 別)

【電源】付属品 AC アダプター使用(DC IN 12V 2A)

【付属品】AC アダプター×1 光デジタルケーブル(1.5m)×1 音声ケーブル(1.5m)×1 (両端 3.5 mmステレオミニプラグ) 専用リモコン×1 リモコン用電池単三×2 取扱説明書類×1

【アンプ出力】15W(MAX 専用設計デジタルアンプ駆動)

【入力/入力感度】3.5 mmステレオミニジャック

【使用環境】温度-10℃～40℃多湿環境での使用は避けてください。

【サイズ】W90mm×H154mm×D200mm

【重量】約 0.6kg(電源アダプター約 100g 別)

【電源】付属品 電源アダプター使用(DC IN 12V

1.5A)

【付属品】電源アダプター×1 音声ケーブル(2m)×1 (両端 3.5 mmステレオミニプラグ) 取扱説明書類 ×1 別紙「ミライスピーカーをより快適にご使用いただくために」×1

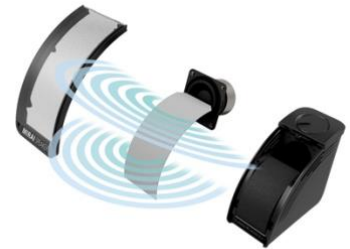
各製品や曲面サウンドについて、詳しくは以下サイトでご確認ください。

日本サイト：<https://miraispeaker.com/>

米国サイト：<https://miraispeaker.net/>

・“音”そのものを変換する新技術 「ミライスピーカー」独自の『曲面サウンド』とは

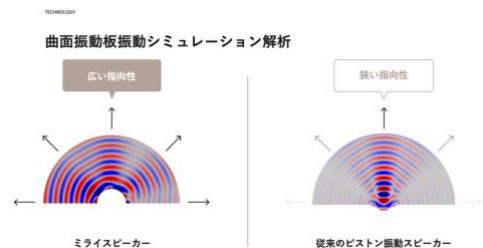
従来のスピーカーの振動板は、円すい形であるのに対して、「ミライスピーカー」の振動板は、平板を湾曲させた形状となっています。この曲面振動板から発せられる曲面サウンドが、広く遠くまでハッキリとした音声を届け、言葉の「聞こえ」にお困りの方をサポートします。



実際の製品の振動板の色は黒ですが、形状を表現するために色をグレーにしています。

・従来のスピーカーとの“音波”の違い

可視化が難しい音波ですが、ミライスピーカーの特有の音波がなぜ生まれるのか、東京都立大学・大久保准教授の協力により、振動板の動きからシミュレーション解析を行いました。従来のスピーカーとは異なり、高音域において、広範囲にしっかりと音を届ける音場がつくられることが確認されました。今後も、スピーカー100年の歴史を変える『曲面サウンド』の音について研究を続けてまいります。



<会社概要>

会 社 名：株式会社ミライスピーカー（英文名称：Mirai Speaker Inc.）

本 社：東京都中央区東日本橋 2 丁目 22 番 1 号クロスシー東日本橋ビル 8 階

設 立：2013 年 10 月 7 日

代表取締役社長：山地 浩

資 本 金：50,000,000 円（資本準備金含む：100,000,000 円）

事 業 内 容：テレビ等の音声を聞こえやすい音に変換するテクノロジー「ミライスピーカー」の開発・製造・販売

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ミライスピーカー 広報担当：高濱

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2 丁目 22 番 1 号クロスシー東日本橋ビル 8 階

TEL：090-4019-2535 MAIL：ml_pr@miraisp.jp